

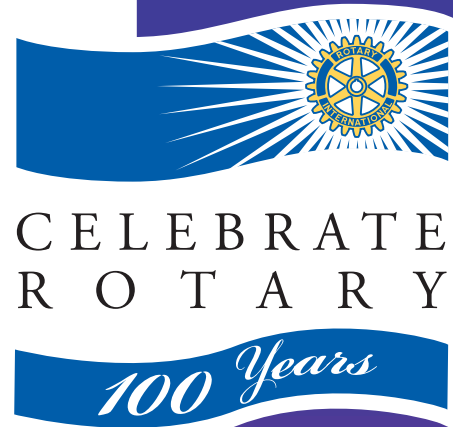
国際ロータリー 第2510地区

2004-2005年度

ガバナー月信

国際ロータリー第2510地区
2004-2005年度ガバナー 遠藤 秀雄

〒059-0034 北海道登別市鷺別町2丁目31-1 医療法人社団友愛会 恵愛病院2F
TEL : (0143)82-2510 FAX : (0143)82-2512
e-mail : keiai.hp.rc@triton.ocn.ne.jp



DISTRICT 2510 of ROTARY INTERNATIONAL
2004-2005
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナーs LETTER	3
ガバナー日記	4
2005年国際協議会に出席して	7
地区チーム研修セミナーの報告	8
国際ロータリーのテーマ“超我の奉仕”	9
4月はロータリー雑誌月間です	10
ロータリーの友をさらにEnjoyしましょう	11
地区ロータリーの友委員会の存在意義	12
ロータリー100周年記念事業特集	13
RJW (ロータリー・ジャパン・ウェブ ニュース) ／ロータリー文庫通信	22
国際ロータリー第2510地区 ローターアクト 2004-2005年度第3回会長・幹事会開催	23
2005-2006年度 会長エレクト研修セミナー 地区ロータリー財団セミナー・地区米山セミナー	24
地区委員会活動報告 ・親業訓練入門開催報告	25
・地区ロータリーの友委員会報告	25
・2004-2005年度第2回 地区クラブ奉仕委員会報告書	26
・ノンカイRCキティサック元会長、キティボン会長 インタビューレポート	27
ハイライトよねやま61	28
ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます 米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます 掲示板／ガバナー事務所からのお願い	30
2月会員増減数・出席率報告	31
新入会員のご紹介／訃報	32
4・5月地区カレンダー	33

2004-2005 Governor
ENDO HIDEO

Keiai Hospital 2F, Washibetsu-cho, 2-31-1, Noboribetsu, Hokkaido, 059-0034, JAPAN
(e-mail : keiai.hp.rc@triton.ocn.ne.jp) TEL.81-143-82-2510 FAX.81-143-82-2512

No.10
2005.4

ガバナー・ノミニーの選出手続きの変更

「手続き要覧2004年」のR I細則第13条 ガバナーの指名と選挙【R I細則13.010.ガバナー・ノミニーの選出】によると、「地区はノミニーを、ガバナーとして就任する日の直前24ヶ月以上30ヶ月以内に選出するものとする」とあります。

つまり、R I第2510地区においても、2005年6月30日までにガバナー・ノミニーの選出を行わなければなりません。

2007～2008年度

● ● ガバナー・ノミニー候補者推薦のお願い ● ●

国際ロータリー第2510地区

ガバナー 遠藤 秀雄

次期地区ガバナー指名委員会

委員長 岩城 秀晴

2007～2008年度地区ガバナー・ノミニー候補者として適格な会員があり、地区ガバナー指名委員会の審議を希望する地区クラブは6月15日必着にて、地区ガバナー指名委員長（地区ガバナー事務所気付）宛、文書（書式任意）をもって推薦ください。

尚、地区ガバナー・ノミニー資格条件については、国際ロータリー細則第15条第7節1頁～6頁及び第8節の資格条件に適していることを要します。

Gガバナー's レターOVERNOR'S LETTER

雑誌月間に思う

国際ロータリー第2510地区

ガバナー 遠藤 秀雄



今年度の地区目標の一番目に、ロータリアンとしての資質を高める努力を奨励しました。少なくとも月に一度はロータリーに関する情報に目を通して頂きたいとお願いを致しました。

R Iの機関雑誌は「ザ・ロータリアン」でありますし、R I理事会が承認した雑誌は「ロータリーの友」であります。これは我々ロータリアンにとっては購買義務が課せられています。日本のロータリアンの大多数が「ザ・ロータリアン」でなく、「ロータリーの友」(「友誌」)を購入しておられると思います。私は最近「友誌」が読み易くなったと思っている一人であります。指定記事で会長の考え方や国際的な動きが判ります。写真や地区のたより、わがまちわが地区、友愛の広場等で他地区の情報が入ります。云いたい、聞きたいコーナーで会員のロータリーに対する思いが伝わって参ります。風紋ではロータリアンの奉仕に対する考え方を学ぶことが出来ます。また基本の樹は新入会員にとっても、復習してみたい会員にとっても大変重宝な記事だと思えます。

2003 - 2004年2510地区ロータリーの友委員会年報に「友誌」に関するアンケート結果が記載されています。対象は地区内各クラブの雑誌(ロータリーの友)委員長さんで回収率97.2%です。その中に委員長さんが友誌をどのように読んでいるのだろうか。毎号楽しみにしている割合は24.6%、一通り目を通して

る割合は71%で殆どの方が読んでいました。しかし毎月友誌の内容を簡潔に会員に紹介しているクラブは39%で半数に満たない現状であります。委員長宛には会員より早く届くことが原則になっていますので是非ご活用をお願いいたします。友誌についてのご意見としてはカラー写真が多く目を引く、読み易くなった、毎号良く工夫されている、満足している等、肯定的な意見の多い中、奉仕活動の実践例や全く新しい取り組みをしているクラブの内容を紹介して欲しい、ロータリアン以外の方が読んでも興味を引く内容が欲しい、総じて人生の教科書的硬いイメージ、目立つ目次案内が必要等、建設的なものも多く参考になりました。

友誌が国内のロータリーの情報源だとすれば、第2510地区・月信は地区内の情報に役立つものかと思えます。特に今年度はロータリー100周年に因んで表紙に細工がしてあり、13冊まとめると背表紙が虹のようなイメージに工夫されています。目に止まった時に再度読み返して頂けると参考になると思えます。

雑誌ばかりでなく、ロータリー100周年記念に発表された「奉仕の一世紀」則題にロータリー物語とついておりますが日本語訳も読み易く、ロータリーの歴史を知る上では貴重な一冊だと思えます。まだお読みでない方には是非お勧めしたいと思っております。いずれにしろ、どんな立派な雑誌や書籍でも良いと思われる記事もあれば気にいらぬ部分も含まれていると思いますが、関心を持って読めば自分の血になり肉になると考えます。

ガバナー日記

2月19日(土) ロータリー財団国際親善奨学生総合オリエンテーション

今回は奨学生の留学先が決まったので、留学に対する最後の心構えや手続き、特にロータリーの国際親善使節としての意義を考えてもらう目的で開かれた。奨学生9名は3ヶ月~2年間、アメリカ、カナダ、英国、イタリア、オーストリア、インドネシアに分かれて留学をする。瀧川哲夫委員長の司会でプログラムが進められたが奨学生諸君は自己紹介で留学の目的、その後の進路、奨学生に選ばれたことへの感謝等、どうどうとアピールし、大変心強く感じた。私は奨学生の意義と義務について再確認の目的で話をさせて頂いた。

校友会からも自分の体験や留意点についてお話があった。夕食後はケーススタデーが行われる事になっている。残された期間を更に万全の体制を整え、有意義な留学を楽しんでもらいたいと思う。

2月23日(水) RI創立100周年記念日

今日は100周年の中でも最も重要な日である。今年度の始めからこの日に地区内一斉に行事を行い、ロータリーを祝って頂くようお願いをしてきたが、第9グループでは6クラブのロータリー家族が一堂に集い「ロータリーを祝う会」を開いて頂いた。例会は私からのロータリーの組織が出来上がるまでと、ロータリーの現状、特に世界に対する貢献について地区内各クラブがそれぞれの地域に奉仕活動を行っていることについて、お話をさせて頂いた。最後に登別クラブは元よりグループ全員が地区運営に協力していただいていることに謝辞を申し上げた。懇親会は各クラブ、各々余興がでて爆笑のうちに楽しい会を終えた。鈴木久雄ガバナー補佐、室蘭東クラブの皆さんに御礼を申し上げる。

2月24日(木) 第3回ガバナー会会議 11:00~15:00 高輪プリンスホテル

仲田議長の進行役で進められた。

1. 台風23号・新潟中越地震災害義援金報告

総額及び当地区の義援金額については月信No7、6頁に記載しているが今回は34地区、各クラブの寄付金一覧が資料として示された。当地区は60クラブから3,647,579円であった。

新潟・横山ガバナーから謝辞と水害による三市の学校備品購入と地震災害に対しては委員会をもうけて各RCに配分を行った。(各クラブに同額援助、奨学補助等)

2. 2004年大阪国際大会剰余金の受け取りと使途

ガバナー会に2,300万円が配分された。100周年記念大阪大会を記して34地区旗を作る案が決まった。また情報センター・ジャパンの立ち上げ資金としても使用される。

3. ロータリー・情報センター・ジャパン

現在ロータリーの友とロータリー文庫が運営されている。これから重要視されているロータリージャパン・ウェブ(RJW)が宙に浮いた状態になっているが、この3者の管理・運営を一元化することで、経済的にも効率化が図られる。軌道に乗るまでは各会員、年200円の負担増となるが、効率化が図られれば当然負担は軽くなる。ガバナー会は賛成の立場。

4. ガバナー会規則について

ガバナー会は地区ガバナーを会員として組織されているので任期は1年であるが、ガバナー会の中に多年度に亘る委員会が4つある。本来のガバナー会のあるべき姿に戻すべきではないか、との意見があり、規約改定案が検討されている。

5. スマトラ沖地震と津波災害義援金協力

RIが募金を支援することになっており日本事務局財団室を通じて集められており、ガバナー会では詳細は把握出来ていないが3月31日迄なので各クラブに協力をお願いする。UNISEF、姉妹クラブ、双子クラブに送金した分も調べてみる。

6. モンゴル緑化運動協力

韓国からの要請で日本と韓国の全ロータリアンが参

No. 23

Date 05. 4. 1

加して、100周年記念事業として南戈壁砂漠に植林をして黄砂減少と砂漠化防止を計画するものである。仲田議長がモンゴルに調査目的で訪問予定。

7. ガバナー会青少年交換委員会

4月22日～23日研究会「東京会議」開催、8分科会で討論予定。国際的に問題になっている「セクハラ」の対応が急がれる。

8. ガバナー会青少年育成委員会

各地区のプログラムリストを3月15日までに集め、文科省に提出する。文科省では「キャリア教育実践プロジェクト」を立ち上げ中学校2年生に5日間以上の職場体験等を実施し、生きる力を身につける目的で調査研究を行う。

9. 平和奨学生支援金と使途

34地区102,758人から15円を集め1,541,370円が入金になっている。当地区は47,040円を地区資金の中から負担している。これまではホストエリア6地区各10万円、ガバナー会から100万円の資金でまかなわれていたが、これがなくなる。使途は奨学生の広島と沖縄の修学旅行費とホストエリアのセミナーに支出されている。現在奨学生は国際キリスト教大学で就学しているが1期生7名は卒業、2期生9名、3期生7名で今年6名が入る予定である。

10. ロータリー 100周年記念切手発行

80円切手が4月28日、郵便局から全国一斉に発売される。R Iの「ロータリー 100周年記念運営委員会」よりの要請に基づき、特活ロータリー日本財団が申請者となり、外務省の推薦を得て発行が決定された。会員はこの切手を活用し、ロータリーの奉仕活動を広く世界に知ってもらうように尽力いただきたい。全国の郵便局で購入可能とのこと。(裏表紙にイメージ写真掲載)

11. 全日本 R Y L A 大会及び R Y L A ワークショップについて

D・2640、D・2650、D・2660、D・2680共同主催で2005年3月11日～13日、大阪市で開催され

る。本来は国際大会 関西 での開催予定で準備されていましたが許可されず、今回開催の運びとなった。大変意義のある大会、ワークショップであるが、当地区では既に R Y L A は終了し予算も取れないのでクラブ単位での自費参加をお願いしたところである。2月23日現在まだ申込みはない。

12. スペシャルオリンピック寄付状況

2月26日～3月5日、知的発達障害の冬期世界大会が長野で開催されているが世界86地域から82選手団が集い友情をはかっている。皆さんからの寄付を頂いたが34地区合計20,616,408円で当地区は22クラブから854,900円であった。御協力有り難うございました。

次回のガバナー会は5月に開催予定。またガバナー会の引継は7月9日の予定である。

3月4日(金) ロータリーの友委員会 18:00 ロイトン札幌

木下委員長の体調が戻られて初めての委員会となった。これまでの活動報告が行われた。

わがまち、わが地区への掲載、地区のたよりへの投稿が終了している。4月は雑誌月間であり、委員の方からの寄稿を依頼した。次年度は地区の財政問題からロータリーの友委員会がなくなる予定で、淋しさが語られた。

3月6日(日) 地区研修セミナー 10:30～15:30
札幌ロイヤルホテル

塚原ガバナー・エレクトが2月18日～25日アナハイム国際協議会で研修を受けてこられた成果を表明される緊張のセミナーである。ステンハマー R I 会長エレクトのテーマは“超我の奉仕”である。国際ロータリーがこれまでに造り出した最高の標語でありながら、これまでテーマとして一度も選ばれなかったものを選んだと述べておられる。またロータリーに継続性を求めておられる立場から強調事項も識字率の向上、水保全(保健と健康の改善を含む)、地域社会の奉仕、超我の奉仕の理解をあげられた。

塚原ガバナー・エレクトは地区目標を5つ掲げておられるが新しい世紀に向けていずれも大切なテーマであり、各RCの発展につながるものと考えられる。

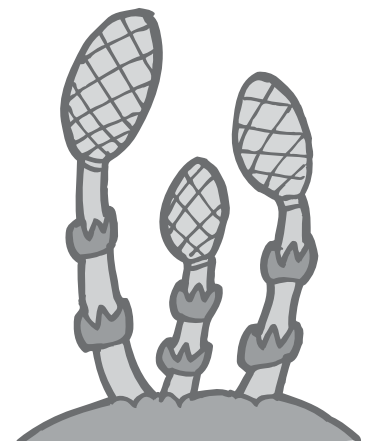
伊藤長英・地区研修リーダーは地区リーダーシッププランの説明の中で、クラブ・リーダーシッププランの考え方についても触れ、RCの強化を図る目的であると述べられた。遠藤正之・ロータリー財団委員長はロータリー財団地区セミナーハンドブック(2004年11月25日)の要点について説明されロータリーカードの申込み、利用を呼び掛けた。地区組織については地区予算と関連して質を落とさず簡素化をはかられた。地区予算についても会員数3,200人としているので厳しい執行となる。また公式訪問は4年ぶりに各クラブごとに行われる事となった。午後からは地区委員会委員長の自己紹介と活動計画が行われ閉会となった。

昼休みに伊藤・研修リーダーから2004年手続要覧でガバナー・ノミニーの選出時期の変更が指摘された。私は気づいていたが今年度は間に合わないのではないかと考えていたが、当日ご出席の塚原G.E、丸山G.N、次期指名委員長の岩城P.G、佐藤P.Gと御相談、4月号、5月号月信でクラブからの推薦をしてもらい、6月の指名委員会で選出の予定で手続きに入ることにした。今回は過渡期であり4月の諮問委員会に事後承諾をお願いする方法を取らせて頂く。

3月12日(土) 函館五稜郭クラブ35周年記念式典及び祝賀会17:00 函館ロイヤルホテル

ロータリー100周年の記念すべき年に重ね重ねお目出たいことである。函館市長、井上博司様、教育長金山正智様ご臨席の式典では光銭会長から記念事業として新設の私立図書館に立派な展示棚を寄贈、また在籍30年以上の会員11名の表彰が行われた。祝賀会は第10・第11グループから大勢のご参加があり友好クラブの東京日野RC、東京飛大野RCからもご出席があり盛大であった。函館白百

合学園高校の吹奏楽部の演奏で開幕、花をそえていただいた。光銭会長を中心に纏まりがあり、なごやかで、思いやりのある楽しい雰囲気であった。



2005年国際協議会に出席して



ガバナー・エレクト 塚原 房 樹 (札幌 東)

2月19日大会第一日目、アナハイムのヒルトンホテルの大会議室カリフォルニア・ボールルーム、世界166カ国からのガバナーエレクト529人、配偶者合わせて1,000名を超える午前の本会議で、RI会長エレクト、カール・ヴィルヘルム・ステンハマー氏より次のような2005 - 2006年度テーマに関する演説がありました。

『私はモダンであることを好みます。私はリサイクル(再生)を利用し、また継続性を推進したいと考えます。従って、私が選んだテーマは国際ロータリーがこれまでに創り出した最高の標語であるサービス アバブ セルフ「超私の奉仕」です。ロゴも必要です。私はここでもリサイクル利用し、国際ロータリーがこれまで創造した最高のロゴを選びました。私たちのトレードマークである「ロータリーの歯車」です』

これを聞いた瞬間、会場はいったん静粛に、次いで地鳴りのような感動の声が沸きあがりました。皆立ち上がり拍手が沸き起こり、止みませんでした。まさかロータリアンなら誰でも知っているロータリーの標語の一つ、サービス アバブ セルフ「超私の奉仕」がテーマに選ばれようとは。私も目頭が熱くなるのを覚えました。なおRIの強調事項には「識字率」と「水」問題が継続されました。

今回の国際協議会でロータリーの潮流が若干変わったように感じました。「職業奉仕」が見直されるようになりました。また財団主体の人的国際ボランティア

活動は、新世紀のロータリー運動においても大きな柱ですが、その一方地域社会への奉仕も強調されています。ロータリー財団は「毎年あなたも100ドルを」というキャンペーンを開始しました。ポリオ・プラスはまだ絶滅宣言は出来ません。しかし世界のロータリアンの多大な協力(6億ドルの寄付)に謝意が表明されました。

国際協議会では多くのことを学びました。しかし一番大きな収穫は言葉も、肌の色もロータリー観も違う世界166カ国から集まった529人のガバナーエレクト達と毎日3度の食事を共にし、共にロータリーを学んだことです。ロータリーは世界的な組織だということをつくづく実感しました。国際間の理解と親善の大切さを改めて学んだアナハイムの7日間でした。



国際ロータリー第2510地区 2005 - 2006年度

地区チーム研修セミナーの報告

と き：2005年3月6日(日)

10：30～16：00

と ころ：札幌ロイヤルホテル

ホストRC：札幌東RC

ホストクラブである札幌東RC小田切房之会長の歓迎挨拶と、遠藤秀雄ガバナーの点鐘によりセミナーが開始されました。

地区チーム研修セミナーの目的は「地区内の各クラブを支援するために地区内の指導者が結合力のあるチームを組むこと」とありますが、本セミナーもその主旨に基づいた内容で進行いたしました。

塚原房樹ガバナー・エレクトは挨拶に続いて、次年度RIテーマ「超我の奉仕」と次年度地区運営基本方針それぞれの発表とその内容についての報告を行いました。

伊藤長英(PG)地区研修リーダーは手続要覧2004による新地区リーダーシッププラン(DLP)の解説をされ、ガバナー補佐・地区委員会にその任務の重要性を示されました。次年度地区幹事、次年度ガバナー補佐と紹介が続き午前の部を終え、午後からは次年度地区委員会委員長の自己紹介・活動計画報告があり、それぞれが次年度に向け士気を向上させる実りある一日となったようです。





超我の奉仕

2005～2006年度 国際ロータリーのテーマ

1911年、ロータリアンは「超我の奉仕」という標語を熱意をもって採択しました。それは、この標語が、生まれたばかりの組織が発展の途上にある中、その理想を巧みに言い表していたからです。それから95年間、この標語は、私たちが人道的奉仕を遂行し、高い道徳的水準を推進し、国際理解と平和のために活動する上で、根底をなす動機となってきました。私たちの生活に内在するあらゆる事象と同じように、この標語を私たちは自然に受け入れることができます。来たる年度、すべてのロータリアンに「超我の奉仕」の真の意味をじっくりと考えていただく機会が与えられます。そして、この思いやりと寛容の精神に満ちた普遍的メッセージに、新たな思いを抱かれることになると思います。

カール・ヴィルヘルム・ステンハマー
2005～06年度 国際ロータリー会長

2005～2006年度 R I 強調事項

- ・識字率向上
- ・水保全
- ・地域社会への奉仕
- ・超我の奉仕の理解

国際ロータリー第2510地区
2005～2006年度 ガバナー 塚原 房樹

地区の目標

1. 「毎年あなたも100ドルを」
ロータリー財団にご協力ください。100ドルの寄付で次のことが可能となります。
 - ・ジンバブエの農村に四つの新しい井戸を掘り、数百人の村人を救えます。
 - ・インドで3人の白内障手術を行う。
世界に誇る日本の米山記念奨学会もお忘れなくご協力ください。
2. 「充実したクラブを作ろう」
 - ・出席率の向上。ロータリーは参加することから始まります。
 - ・会員増強。1名かそれ以上の純増を計画してください。ただし会員の選考はクラブ細則に従い厳しく。悪貨は良貨を駆逐します。
3. 「R I テーマ “超我の奉仕” の実践」
ロータリーの会員は皆選ばれた人たちです。その代わり当然『高貴の義務』が付いています。ロータリアンは選抜されたエリートです。したがって地域社会に“超我の奉仕”を実践しましょう。
4. 「職業奉仕の再構築」
ロータリーの金看板は職業奉仕です。職業を通じての奉仕はロータリアンにも地域社会にも利益を与えます。職業奉仕の理解を深めましょう。
5. 「奉仕の新2世紀を迎えて」
栄光あるロータリー100年の歴史を支えてきたものは邂逅と友情です。初心を忘れずに奉仕の源となる親睦を大切にしましょう。

4月はロータリー雑誌月間です



雑誌月間に寄せて

RI2510地区ロータリーの友委員会

委員長 木下 博(室蘭)

2005年3月14日 ロータリーの友常任委員・地区委員合同会議に参加した。

この会議は4月の雑誌月間をひかえて、永田農地区委員の『ロータリーの友委員会の改革と「ロータリーの友」編集改善の提案』をめぐる会議となった。

高野孫左衛門特別顧問

発議として、ロータリーの友誌発刊の歴史、役割など格調高く話された。

1)歴史

1953年1月発刊、2003年1月創刊50周年、1980年7月公式地域雑誌。

2)性格

「友」誌はロータリーの情報誌ではあるが、広報誌ではないロータリアンのテキストの意味付けがある

他のメディア、ガバナー月信、R J Wなどとのコラボレーションを考える

ロータリアンとの情報交流は、公式雑誌としての枠の中にある

会員の多様性(年齢、在籍年数、役職、職業、理解度など)を考える

ロータリー情報とは、綱領、モットー、四つのテストに基づく

3)友委員会と地区委員

ガバナーが「友」誌作りをするべきだが、委任を受けた代行者が行う。

地区委員は「友」誌の広報並びに利用促進活動、加えて友事務所の出版物の利用促進活動をする

将来リーダーシップをとる人材として育成する。

永田 農地区委員

「ロータリーの友」はいい雑誌だが、よく読まれない。取り組みに問題。

1)委員会組織は、正・副委員長、常任委員(編集経験者)、編集長のみ。

地区委員は不要、必要なら性格を明確にし、レポートや合

同会議を減ずる。

- 2)編集誌面改善は 毎号の主要記事が読み取れるような編集のメリハリ、Rotarian誌との連携強化、表紙のメッセージ機能の強化、縦書き横書き区分の明確化、ページ数の削減が挙げられる。グループ討議。5グループにわかれて永田委員の提案、雑誌月間での取り組み、地区での地区委員の位置、「友」誌の渡し方、R I記事の日本語訳などを討議。

星野和央常任委員

- 1)R Iの公式雑誌The Rotarian誌と対比して、「友」誌はR Iならびに「R」誌の意思、情報の伝達と日本におけるロータリー活動の情報提供、ロータリアンの交流をはかる役割があり、両者は100%の一卵性双生児ではない。

- 2)表紙のメッセージ機能について、表紙のスペースに配置する文字はシンプルでも内容をアピールする言葉に工夫したい。

3)次年度からの誌面構成の変更予定

7月号に掲載する「ガバナー紹介」は1地区1ページから、2地区1ページに変更する。「ガバナー座談会」をテーマに

応じたロータリアンによる座談会に変更する。ガバナーの誌面登場については新企画を検討中である。

「Rotary at work」と「Rotary report」を一本化する。

「わがまち わが地区」を廃止する。

タテ組、ヨコ組の特徴ある誌面作りを、よりわかりやすく徹底したい。

各地区、個別クラブ、ロータリアンからの投稿欄は、多様な受け皿を設け柔軟な対応で投稿者と読者との交流を図るため、統廃合は考えていない。

ページ数はゆとりを持ちたい。

4)「読まれる友誌」「活用される友誌」

編集発行者からみれば、ロータリアンの多様性からみて、企画や記事に対する興味や関心も微妙に異なっている。それ

ぞれの立場で「友」誌の記事と出会い、ロータリー活動あるいは仕事や人生のなかで活用していただければよい。「友」誌の

ページをめくる中で、ロータリー活動とジャストフィットする記事を提供できれば、この雑誌の使命は果たされると思う。

ロータリーの友をさらにEnjoyしましょう

ロータリーの友委員会

委員 齋藤元護（札幌南）

私は2001～2002年度岩城秀晴ガバナーのお誘いを頂いて、ロータリーの友委員会の地区委員を勤めさせて頂きました。

- ・毎月のロータリーの友を通読してレポートを提出
- ・年間6回、全国の地区委員会会合に出席
- ・「地区のたより」の企画と「わがまちわが地区」の原稿作成
- ・クラブ会長・雑誌委員長会議開催のお世話
- ・4月の雑誌月間には依頼を受けたクラブにて、ロータリーの友に関する卓話

以上、みなさまのご指導ご支援のもとに実行させて頂きました。

任期の終わりに当り、地区委員として最も大切なことはわが地区の会員みなさまにロータリーの友をより良く読んで頂き、その記事の中にその人なりの発見・共感そして感動を少しでも多く味わって頂くことですが、その為に私がどれだけ役立ったかを反省すると誠に不十分であったと心残りがありました。

幸いにして2002～2003年度小林博ガバナーのご英断に依り「ロータリーの友地区委員会」が発足し、私もその一員として3年間に亘り、いささかの奉仕をさせて頂いたことは有難いことと感謝しております。

次年度は残念ながら休止の止むなきに至りましたが、他日、ロータリーの友委員会地区委員の活動を支援するための組織として再開し、強力な活動を展開することを希望致します。

縁あってRCに入会した我々はロータリーの友に学び、また楽しみ、ロータリアンとしてより深い喜びを味わうようにありたいものと思う次第であります。



地区ロータリーの友委員会の存在意義



ロータリーの友委員会

委員 佐藤 公（札幌北）

2510地区にロータリーの友委員会が発足して3年目になる。国内34地区で雑誌委員会という委員会を設置しているのは当地区だけという。ましてや『雑誌』を『ロータリーの友』に置き換え委員会としたのも初のようなものである。このことをどう受け止めるか。斬新で革新的であると考えるのが、今まで例がないからまた存在価値がないから設置しない方がよいとするのか。

2005年2月23日にロータリー100周年祝う例会が行われた。わずか4人で始めたRCが120万人を越える会員の組織にまで拡大発展した。

20世紀という時代はロータリーのみならず政治も経済も「成長と力と拡大の時代」であった。しかし、21世紀は「心と感性と存在感」、つまり「人間性の開花が求められる時代」と大手経済研究所では予測している。

ロータリーも200周年（新世紀）に向かって変容しなければ発展は難しいと言えよう。RIのグレン・E・エステス会長は“100周年は未来を見つめ、新しい目標を決めて、新しい挑戦と向かい合うときでもあるのです”そして“新たな一步を踏み出す”ことが必要と語っています。さらに、“奉仕の2世紀に入るにあたって、私たちは組織として変革し、成長し続けなければなりません。私はロータリアンの歯車の新しい物語をつくるよう奨励します”とも言い切っている。（ロータリーの友2月号）

会員が雑誌「ロータリーの友」を購読することは3つの義務の一つとして挙げられている。“購読して読む”ということの意味することは重要である。企業であれば、社内報というものがあリ、社員に「配布される」が必ずしも全社員に読まれているとは限らない。しか

し、ロータリーの友は自動的に配布されるのではなく「会員の意志で購読し読む」ことなのである。この違いを理解しなければならない。

会員の3つの義務を体の栄養素で言うならば3大栄養素の一つだ。だから、生きるのに（会員であること、つまり、ロータリーが存続すること）不可欠な栄養素なのである。私はこれからのロータリーが組織として量、質とも発展するには組織の変革もさることながら、雑誌ロータリーの友やウェブなどを媒体とした「コミュニケーション」の在り方が左右すると思う。だから、ロータリーの友の「編集方針や編集委員の能力」が大きなカギを持っていると考えている。

話を地区の「ロータリーの友委員会」に戻そう。地区にはガバナーの直轄国内委員会として「ロータリーの友地区委員」が1名配属されている。地区委員は全国の合同会議出席やロータリーの友誌への寄稿が主な任務で、一人だけでは地区のロータリーの友または雑誌委員会への支援（雑誌月間の講演など）、ロータリーの友誌購読の利用促進などの支援活動は大変である。地区に委員会があれば委員が分担して活動できるキャパシティとアビリティがある。

ロータリーに大切な雑誌「ロータリーの友」が3大栄養素と理解しているならば、大義名分だけでなく会員に購読の必要性、メリットを分かりやすく、懇切丁寧に、根気よく継続して理解を図ることが大切である。その意味で、会員の、クラブのコミュニケーション・コミッティーとして地区のロータリーの友委員会の存在は大きな意義があると言えよう。

「誰もやらないからやる」は奉仕の「ロータリー精神」にも通じるものだ。



ロータリー 100 周年記念事業特集

2005年2月23日開催 地区一斉祝賀プログラム

2005年2月23日に開催された、「ロータリー 100周年記念事業」の各クラブ及び各グループの祝賀会プログラム一覧表です。

多種多彩な事業についてご連絡・ご報告を頂いたクラブを順次掲載しましたが、締め切り後に届いた事業は次回号以降にも掲載致します。

合同祝賀例会・事業

クラブ名	記念事業	開催場所
赤平・芦別・砂川・滝川	記念合同祝賀例会	砂川パークホテル
江別・江別西	記念合同祝賀例会	江別市民会館
当別・札幌はまなす・札幌モーニング・札幌北	記念合同祝賀例会	ロイトン札幌
札幌西・札幌西北・札幌		
手稲・札幌あけぼの	記念合同祝賀例会	
札幌幌南・札幌真駒内	記念合同祝賀例会	ホテルライフオート札幌
岩内・倶知安・蘭越・余市	記念合同祝賀例会	
小樽・小樽南・小樽銭函	記念合同祝賀例会	
千歳・千歳セントラル・		
恵庭・北広島・長沼・由仁	記念合同祝賀例会	北広島プリンスホテル
伊達・室蘭・室蘭東・室蘭北・登別・洞爺湖	記念合同祝賀例会	蓬峯殿
函館亀田・七飯・函館北・上磯	記念合同祝賀例会	国際ホテル
白老・苫小牧・苫小牧東・苫小牧北	記念合同祝賀例会	

単独祝賀例会・事業

クラブ名	記念事業	開催場所
深川	記念祝賀例会	
羽幌	記念祝賀例会	
妹背牛	記念祝賀例会	
小平	通常例会	
留萌	記念祝賀例会・創立記念例会	風光館 石亭
美唄	記念祝賀例会	
岩見沢	記念祝賀例会	ホテルサンブラザ
岩見沢東	記念祝賀例会	
栗沢	記念祝賀例会	
栗山	通常例会 (記念事業開催予定)	
札幌	記念祝賀例会	
札幌東	記念祝賀例会	札幌東ロイヤルホテル
札幌清田	記念祝賀例会	ルネッサンスホテル
札幌南	記念祝賀例会・家族例会	

クラブ名	記念事業	開催場所
札幌大通公園	記念祝賀例会	
札幌セントラル	記念祝賀例会	
えりも	5月、記念オークション開催予定	
三石	新年会開催の際、オークション開催	
様似	3月11日に記念コンサート開催	
静内	記念祝賀例会	
浦河	記念祝賀例会・家族例会開催済み	
函館	記念祝賀例会・70周年記念例会	
森	記念祝賀例会	グリーンピア大沼
長万部	記念祝賀例会	
江差	記念祝賀例会	
函館五稜郭	記念祝賀例会	ホテル函館ロイヤル柏木
函館東	記念祝賀例会	
松前	記念祝賀例会	

ロータリー 100周年記念事業特集

妹背牛 R C



私共の創立記念日に夜間例会を開催しました。開会に当たり会長より100周年記念の想いが伝えられ、次いで幹事より、第2510地区遠藤ガバナ - の「ロータリー創立記念メッセージ」を代読し、先人の偉業に思いを寄せました。創立記念研修会として、世界で初めて R C を創設したポ - ル・ハリスを偲び「ビデオ：ポ - ル・ハリスの生い立ちと信念」(地区資料室より借用)で研修を致しました。歴史的時代の背景を偲び、時代の流れと現代にいろいろの想いを馳せて語り合いました。意義のある例会日となりました。

岩見沢 R C

事業名 国際ロータリー 100周年記念事業
岩見沢「まち・元気ファンド」

国際ロータリーの100年を記念して特別事業、岩見沢「まち・元気ファンド」を開催致しました。

趣旨は、岩見沢のまちをもっと元気になりたいとの思いを持って芸術・文化・教育・地域づくり・人材育成・地域起こしなどの取り組みを実践している団体や、ボランティア活動・サークル活動をしている団体・グループで、活動資金が不足していたり、新たな活動の為に助成を希望している市内の団体に、資金を助成するという取り組みです。

助成する金額は、100年を記念し総額100万円とさせていただきました。平成17年1月10日から2月10日まで1ヶ月間募集した結果、18団体にエントリーしていただきました。

創立記念である2月23日(水)PM. 4:00からホテルサンプラザに於きまして公開審査会を開催し、各団体より取り組み・今後の展開等をプレゼンテーションしていただき、岩見沢 R C の会員と参加団体代表者の投票によって各賞が決定しました。PM. 6:30より表彰式を行い、その後エントリーされました団体・グループの皆さんと会員との交流会を開催し、お互いの苦労話を話し合ったり、励まし合いながら新たな岩見沢の元気づくりを誓い合いました。



国際ロータリー 100周年記念事業

あなたの夢 実現します

「まち・元気ファンド」

募集開始のお知らせ

まち・元気ファンドとは?

2008年、国際ロータリー100周年記念事業の一環として、岩見沢地区に「まち・元気ファンド」を創設し、地域活性化を促進することを目的として、芸術・文化・教育・地域づくり・人材育成などの分野で活動資金が不足していたり、新たな活動の為に助成を希望している市内の団体に、資金を助成するという取り組みです。

募集期間

平成17年1月10日(水)～2月10日(水)

公開審査会(表彰式・交流会)

日 時 平成17年2月23日(水) PM. 4:00～9:00
会 場 ホテルサンプラザ 5F サンプラザ

申込先

岩見沢ロータリークラブ

〒070-0001 岩見沢市南1-1-1
TEL 011-842-1111 FAX 011-842-1112

ICN 番 00000000-00-0000 ICN 番 00000000-00-0000

 ロータリー100周年記念事業特集

留萌RC

1. この記念日を、ロータリーに対する関心を高め、ロータリーの活動を知ってもらう絶好の機会でもあります。クラブ100周年記念事業委員会の企画により次ぎの2点を行いました。
 - a. 日刊留萌新聞（地方紙）に100年記念と留萌RC創立44周年記念の広告を掲載。
 - b. FMもえる（ラジオ）に清水陸会長が生出演し、ロータリー100周年と国際ロータリーの活動や、留萌クラブの活動をお話ししました。（2月23日午後12時20分より12時40分まで）
2. ロータリー100周年記念・留萌RC創立44周年記念ロータリー合同慶祝夜間例会の開催。

国際ロータリー会長メッセージ DVD放映がされました。

100周年記念事業委員会 事業報告

平成16年10月13日「100周年記念植樹会」

留萌クラブと留萌開発建設部様のご協力です深川留萌自動車道の、のり面に100本植樹を行う。



函館東RC

ロータリー創立100周年を祝い100%例会を目指し2月22日2000～2001年ガバナー補佐の戸嶋会員に「奉仕活動とは.....サービスに正解なし」と題して講話をいただきました。ロータリーとは「寛容」をもって「入りて学び、出でて奉仕する」という感慨深い話しでした。

その後テーブルディスカッションに移りテーブル毎に各々の考えを出し合いました。

同時に100%例会を計画しておりましたが、お陰さまで会員の協力により無事達成することが出来ました。



ロータリー 100周年記念事業特集

函館 R C

2005年2月23日世界中一斉に行われましたロータリー創立100周年「ロータリーを祝おう」の佳き日に因んで、前日の北海道新聞を利用しロータリーを知らない多くの人達のための広報活動を行いました。

新聞社担当者によれば、地域内138,000世帯、読者数300,000人とのことです。

紙上は一日限りと考え、他にカラー印刷で会員各店社、高校・銀行ロビー・病院待合等に相当期間掲示出来るものと考えております。

ロータリアン用ではなく、ロータリーを知らない人達のために制作したつもりですが、永年染み付いたロタキチ色がでてしまい如何なものかと気遣っております。

“まずは行動から”と信じ、ロータリー発展の一助になればと念じております。厳寒の砌、御身專一に願い申し上げます。



江差 R C

国際ロータリー創立100周年を迎えた2月23日、100周年記念例会を開催しました。

会員26名が出席しゲストに江差町広報課、北海道新聞江差支局長様をお招きし改めてロータリーの社会奉仕、国際奉仕について再確認しさらに今後における課題として、子供達と家庭環境をめぐり全国的に深刻な問題として、児童育成や食生活を大事にする「食育」に積極的に取り組むことを確認しあった。



深川 R C

私共のクラブは夜間例会とし統一例会プログラムは「ポール・ハリスの足跡を訪ねて - 没50周年記念 - 」及び「グレン E・エステス R I 会長のメッセージ」の2本のビデオ（合わせて30分間）を放映し、ロータリー創立の背景や経緯を学びエステス会長のロータリー発展の次世代への期待と奉仕の実践を督励するメッセージ（このビデオは、地区の山田信夫 I C 委員長が C D から編集して下さったもの）を受けとめ、93才のチャーターメンバー越智丑次会員の乾杯の音頭で、ロータリー 100年の祝宴を開催、会員相互の親睦を図り記念すべきロータリー 100年を祝いました。



折しも財務大臣表彰を受けた会員をクラブで祝う（全国青色申告会員）



 ロータリー100周年記念事業特集

函館五稜郭RC

当クラブのロータリー創立100周年記念例会は2月23日午後6時30分よりホテル函館ロイヤル柏木において開催されました。通常例会と同様に点鐘、ロータリーソングの後、会長から今日一日世界各国の各地域の各RCで例会が開催されること、100年でロータリーをここまで拡大させた先輩ロータリアンに感謝し、親睦と奉仕の心を大切にして、次の100年に向かって今何が求められ、何をしなければならないのかをこの記念すべき日に皆様とともに考えたいというスピーチがありました。

その後、福德 勲会長（1970年入会）より、「4つのテスト」についてお話をいただき、続いて100周年記念委員会地区委員の酒井正人会長より国際ロータリー2790地区の地区大会で作成された「ロータリー生誕100周年：初期のロータリーを顧みて」のCDが会員にプレゼントされ例会を終了しました。理解しているよう理解しづらい「4つのテスト」についての話は、大変勉強になりました。

引き続き渡辺泰峰会長（1970年入会）の乾杯で祝宴に入りましたが、道端の石は100年経ってもただの石である、しかしここから何かを始めよう、何かを広げようとすれば、それは大きな意味を持つとお話された渡辺会員の挨拶には、大変心を打たれました。祝宴は大変な盛り上がりで終了したことは言うまでもありません。最後に出席者全員で集合写真を撮影して、大変有意義なロータリー創立100周年記念例会を終了しました。



千歳・千歳セントラル・恵庭・北広島・長沼・由仁RC

当日18:30よりロータリー100周年記念6クラブ合同例会を北広島プリンスホテルにて開催した。遠藤秀雄ガバナーのメッセージを披露した後、ガバナー補佐ならびに6クラブの会長よりロータリー100周年に対する感慨をこめた挨拶が行われた。続いてロータリー歴史と伝統を守る会・日本支部作製のビデオ「最初の一つだった」を上映後、フルートの生演奏を聞きながら楽しい懇親会へ移行した。

会員それぞれが、ロータリー100年の歴史を思い起こし、これからの100年に夢を見ることが出来る記念日になったと思っています。出席者110名





ロータリー 100周年記念事業特集

札幌幌南・札幌真駒内 R C

2005年2月23日(水) ロータリー創立以来丁度100年目に当たる当日は札幌真駒内 R C の例会曜日であるため、真駒内 R C のホームホテルである、ホテルライフオート札幌において、定例の12時30分より、スポンサークラブ、札幌幌南 R C との親子水入らず? の記念合同例会を開催致しました。

当日は札幌真駒内 R C、キーマンで初代会長の船本達世名誉会員も久々に参加され、シャンペンで乾杯をしていただき、ロータリー誕生100歳のパースディケーキにキャンドルを灯して、お祝いしました。



例会は土谷亨・藤井久弥、両クラブ会長挨拶に始まり、札幌幌南 R C、遠藤正之パスト・ガバナーと札幌真駒内 R C 第5グループ・ガバナー補佐でガバナー・ノミニーの丸山淳士会員より「ロータリー 100年」によせる卓話をして戴いて、誕生100周年にふさわしい、楽しく内容の濃い例会となりました。

岩内・倶知安・蘭越・余市 R C

後志地区4 R C に於いても、ロータリー創立100周年記念後志4 R C 合同例会が開催され、その席上にて第2510地区財団学友委員会に、4 R C 合同で10万円の支援金を贈呈しました。その後記念講演として、財団学友の菅原桂子さんに依る「私の異文化交流」と言うテーマの記念基調講演が開催されました。

記念講演終了後、記念写真撮影が有り、100周年を祝う懇親会が開催され、参加会員和やかにロータリー創立100周年を祝いました。



 ロータリー100周年記念事業特集

小樽・小樽南・小樽銭函RC

2005年2月23日PM5:30より、小樽グランドホテルに於いて、小樽RC、小樽南RC、小樽銭函RC、3RC合同の「ロータリー100周年小樽3RC合同例会&祝賀会」を開催いたしました。

来賓として、山田小樽市長、山下総務部長に出席していただきました。記念事業として「貴方の元気、支援します。」をおこないました。

以下は、新聞に掲載された記事の一部です。

奉仕活動に支援金100万

ロータリー3RC 小樽の個人、団体対象、小樽市内の3RCは、市内で奉仕活動をしている個人や団体に総額100万円の支援金を贈る「あなたの元気、支援します」を行う。ロータリー100周年の記念事業として実施する。

応募条件は、営利を目的としないボランティアグループまたは個人で、小樽に居住もしくは活動拠点を持っていること。支援金は社会奉仕貢献賞30万円が2件、社会奉仕奨励賞10万円が4件。これに21件の応募がありました。選考委員は、小樽市総務部長、北海道新聞小樽支社長、3RCの副会長があたりました。

社会奉仕貢献賞には、小樽点訳友の会 小樽朗読友の会 ドレミの会（音楽療法研究会）を選考し、それぞれの団体の代表者にスピーチをいただきました。それぞれの団体の熱心な活動を聴き、会員一同感激し皆さんから、我々が元気を戴きました。



江別・江別西RC

江差RC・江別西RC合同で100周年を祝う親睦記念例会を実施しました。家族、留学生(フィンランド出身のエアバ嬢)等を招き、北海道に唯一人のマスターソムリエ澁谷昭氏を講師に各種のワインと食事を味わい、普段なかなか出来ない体験をし、皆さん満足した例会になりました。



ロータリー 100周年記念事業特集

函館亀田・七飯・函館北・上磯RC

2005年2月23日はR I 100周年ということで、04年7月からこの23日に合同例会としてR I 100周年を祝うと計画しておりました。

2月23日は、10グループの七飯RC、函館亀田RC、11グループの函館北RC、上磯RCと4RC合同例会を開催、ホストである函館北RCの例会場で、総勢81名の会員が参加してR I 100周年を祝った。

10グループ加藤直樹ガバナー補佐、11グループ吉川達也ガバナー補佐、5360地区交換学生のイワン・スコット・ホワイト君を向かえ、函館北RCの南木哲雄会長が2510地区遠藤秀雄ガバナーのメッセージを紹介。七飯RC会長はR I 50周年時と2004年6月30日現在のクラブ数と会員数、4つのテストの由来等を、函館亀田RC会長は1905年のこの日がシカゴから、ポールハリスとその3人から始まり、ロータリーの誕生とその成長を述べた。又、上磯RC会長は当クラブは創立8年という若いクラブであり、R I 100周年をこのように盛大に祝うことが出来たのは感無慮であると挨拶した。

懇親会中にポール・ハリスの足跡というビデオを放映、ここ数年IMが開催されなくなり、この様に4RCだけの合同例会であったが、大変意義深いものがあつた。そういう意味からいっても、グループ間を越えてR I 100周年を祝うことができた。

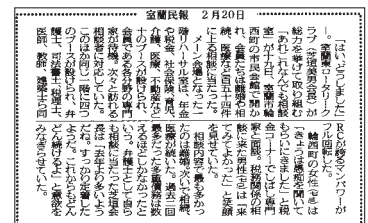


伊達・室蘭・室蘭東・室蘭北・登別・洞爺湖RC

1. ロータリー 100周年を記念して室蘭、室蘭東、室蘭北の3クラブの協同で「100年後のムロラン、私の夢」のテーマで市内の小学生4・5・6年生対象として作文コンクールを行った。335編の応募があつた。芥川賞受賞作家三浦清宏氏を選考委員長として最優秀賞1編、優秀賞3編を選考して、10月30日に受賞式を行った。

2. 「ロータリー誕生100周年を祝おう」家族同伴夜間合同例会を第9グループの6RC共同で2月23日(水)に蓬峯殿で行った。

ロータリー 100周年記念「あれこれなんでも相談室」を会員全員の出席のもとに行つた。



ロータリー 100周年記念事業特集

ミュンヘンオリンピック男子バレーボール
金メダリスト 嶋岡健治氏講演会開催

札幌西北RC プログラム委員長 秋山 秀雄

札幌西北RCでは札幌手稲RC、札幌あけぼのRCとの共催で国際ロータリー100周年を祝う行事として2月19日午後札幌市西区民センターにミュンヘンオリンピック（昭和47年）男子バレーボール金メダリストの嶋岡健治さん（現、JFE継手㈱取締役営業本部長）をお迎えして記念講演会を開催しました。

この3RCでは23年前から札幌市西区・手稲区中学校スポーツ大会（冬期のため種目はバレーボール、バスケットボール、パドミントン、卓球）を主催しており今回はその中学校のバレーボール部員を中心としてインターアクター、RC会員及び一般の方の参加も募り総計300人の聴衆が集まりました。

講演会のはじめに札幌西北RC新谷喜信会長から開会挨拶として国際ロータリー100周年の経緯、本講

演会の主旨等と嶋岡さんのご紹介が行われました。

嶋岡さんの講演テーマは「私とバレーボール」で自身が中学生のときバレーボールと出会って素晴らしい指導者に恵まれ、そしてバレーボールを通して「仲間への思いやり」と「我慢すること」という人生の大切な生き方を学び取ったことなどミュンヘンオリンピックでの試合の経験などを交えながらお話をいただきました。

講演の最後に中学生からの事前質問

60件の中から4問について回答をしていただきました。最後の4問目はトスの上げ方について、会場の女子中学生が嶋岡さんとトスを交換しながら実技を交えた指導があり、バレーボール部の生徒たちは大変興味を示していました。

講演会の終わりには国際ロータリー

第2510地区小山秀昭ガバナー補佐から嶋岡さんへの謝辞と締めくくりの挨拶がありました。

講演終了後、中学生、ロータリアンが嶋岡さんを囲んで記念撮影を行いさらに盛り上がりサイン会にまで発展し、国際ロータリー100周年記念にふさわしい楽しい催しとなりました。



中学校バレー部員にトスの上げ方の実技指導



ロータリアンと記念撮影



嶋岡健治さんの講演



中学生と記念撮影



中学生と記念撮影

RJW(ロータリー・ジャパン・ウェブ)ニュース

【アメリカの上院、2月23日を国際ロータリー日に(2005年2月21日)】

アメリカの上院が、ロータリーの多大な貢献を称えて2月23日を「国際ロータリーの日」とすると決議しました。これはロータリー100周年を称えて2月17日に承認された決議です。

“国際ロータリーが100年間。地域と全世界を通じて、人類の向上の為の奉仕を認めて”と上院議事録に示してあり、詳細は上院議事録を御覧下さい。http://www.gpoaccess.gov/crecord/index.html

【最初のロータリークラブを称えて道標を除幕(2005年2月25日)】

100年目当日の2月23日にアメリカ、イリノイ州のシカゴ市が“シカゴロータリークラブ通り”(Rotary Club of Chicago Way)と謂う名称の道標をシカゴのダウントウンの北ディアボーン通りと西ランドルフ通りの南西角に立てました。この表示は100年前に、シカゴの3人のビジネスマンが最初のロータリークラブを創ったユニティビル(Unity Building)の在った一角に在ります。(現在このビルは無く、2004年に立てられた看板のみが歩道に在ります。)

【ロータリーの100年を祝し、エンパイア ステート ビルをライトアップ(2005年3月4日)】

2月23日に最も目に付いた催事の一つは、ニューヨークの最も高い建物、エンパイア ステート ビルに、2月23日の夜に、ロータリーの青と金色が点燈された事です。この建物の点燈スケジュールに割り込む事は非常に困難な事です。これはニューヨーク州、ポート ワシントン(Port Washington)クラブのマイケル プレイス(Michael Preis)会長の発案によるものです。

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7F

TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 http://www.rotary-bunko.gr.jp

開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

ロータリー 文庫通信 (210号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

「ロータリーを考える」

「吾が内なる道徳律」 佐藤千壽 D.2580 2004 77p

- 2004年国際協議会講話: 佐藤千壽訳 講話原文付 -

『来し方顧み・行く先見つめて』 ビチャイ・ラタクル

『統率の道 - 行く先見つめて』 ラジェンドラ・サブー

[申込先: ロータリー文庫(コピー)]

「ロータリー歴史探訪」 田中 毅 2004 131p

[申込先: 田中 毅 FAX(0797)32-6888]

「ロータリー歴史探訪(日本編)」 田中 毅 2004 55p

[申込先: 田中 毅 FAX(0797)32-6888]

「私の考えるこれからのロータリー」 上野 孝

2005 10p (D.2800 地区大会講演)

[申込先: ロータリー文庫(コピー)]

「ロータリーが、今、直面している問題 - 日本におけるロータリーを中心に」 川尻政輝 2005 9p (D.2730月信)

[申込先: ロータリー文庫(コピー)]

「ポール・ハリスの来日及びハリスと米山の胸像」

井口賢明 2004 2p

[申込先: ロータリー文庫(コピー)]

国際ロータリー第2510地区 ローターアクト 2004-2005年度 第3回会長・幹事会開催

と き 2005年2月19日(土) 15:00~
ところ 定山溪ビューホテル

議 案

各クラブ会員状況

	男	女	合計
赤 平	11	7	18
岩 見 沢	3	3	6
室 蘭 北	6	4	10
札幌幌南	5	4	9
千 歳	8	7	15
札 幌 北	3	4	7
岩 内	8	2	10
函 館	2	8	10
留 萌	6	3	9
函館大学	連絡なし		

* 地区の合計

男 52名 女 42名 合計94名

次年度地区役員発表

地 区 代 表 川 下 和 光
 地 区 代 表 補 佐 有 賀 佑 樹
 飯 塚 雅 樹
 地 区 幹 事 畑 井 福 太 郎
 地 区 副 幹 事 田 中 光
 地 区 会 計 安 藤 由 香 里
 地 区 広 報 2 名 未 定
 地区代表ノミニー 未 定
 直 前 代 表 斉 藤 心

次年度地区行事計画について

8月 地区キャンプ
 9月 地区協議会(室蘭北)
 10月 ゾーン会議(札幌)
 11月 北海道交流会(千歳)
 2月 温泉交流会
 5月 地区大会(幌南)
 海外研修を1月に予定
 (メーリングリストにてアンケート予定)
 赤平30周年(日時未定)

海外研修報告

1月22日~26日(3泊5日)
 オーストラリア ケアンズ
 海外研修の報告は各クラブ報告書にて掲示させていただきます。

勉強会(高橋 あゆ美さん)
 インターアクトについて

アクト委員長柳様より

3月13日(アクトの日)にロータリーの方々とは何か活動できたら良いのではないかと、お言葉を頂きました。

2005-2006年度 会長エレクト研修セミナー
地区ロータリー財団セミナー・地区米山セミナー

と き：2005年3月26～27日
と ころ：札幌ロイヤルホテル
ホストRC：札幌東RC

まだ雪深い豊平川河川敷横の札幌ロイヤルホテルを会場に、10時30分遠藤秀雄ガバナーの点鐘によりセミナーが開会されました。

塚原房樹ガバナー・エレクトの基調講演は、予定の時間をオーバーする熱の入った講話となり、各会長エレクトはRIテーマに提示されている概念を十分に理解できたこととおもいます。午後からは、各委員長によるR財団・米山とセミナーが続きました。米山奨学生の札幌医科大博士課程3年「尚 爾華さん」が、中国少数民族の衣装（これは普段着ですとの説明でし

たが、とても綺麗なものでした）を着て、米山奨学金への感謝の思いを熱くお話ししてくださいました。夜は懇親会です。

第2日目は、伊藤長英（PG）地区研修リーダーによる講演をお聞きした後、6グループに分かれそれぞれのテーマによる討論会です。次年度のガバナー補佐の皆様は、それぞれ進行と報告を担当され、若干緊張気味に初仕事を無事終わらせていらっしやいました。お世話してくださいました札幌東RCの担当の皆様、お疲れ様でした。



地区委員会

活動報告

親業訓練入門開催報告



家庭奉仕委員会

委員長 和田 壬 三(札幌幌南)



委員 大田 すみ子(札幌北)

地区家庭奉仕委員会は、各クラブの家庭奉仕委員又は社会奉仕委員会と連携の上、「親業訓練入門講座」を次の要領で開催いたしました。

1. 日 時 平成17年2月1日(火)、2月8日(火)、
2月15日(火) 午前10時～12時
2. 場 所 北海道クリスチャンセンター
(札幌市北区北7条西6丁目)
3. 主 催 札幌北RC
4. テー マ 親業訓練入門講座
- 心をつなぐコミュニケーション -
5. 講 師 土橋芳美(親業訓練インストラクター)
6. 参加者 2月1日(火) 14名(男性2名)
8日(火) 18名(男性4名)
15日(火) 16名(男性3名)

初日は緊張して集まった参加者は、講師の上手な導入によって、自己紹介やゲーム感覚の訓練コースに乗って、なごやかで心を開いた講座でした。

話の聴き方問方、人への接し方について実践し、密接な人間関係のあり方を体験的に学習し、従来の自分の対応から、相手を尊重した関係づくりへ脱却する機会になりました。

二回目は、主として相手方に自由に話させる能動的な聞き方を学びました。見ず知らずの他人に家庭の悩みを話すのは抵抗があるはずですが、講師の巧みな聞き方によって、自然に自分の悩みを伝えることができるのには驚きを感じます。

最後は自分自身の意思や希望を相手方に伝える方法について学びましたが、伝え方によってどれだけ相手方に影響を与えるか多くの人の例を聞きながら感じました。

今回の教室は、コミュニケーションの方法を学ぶことが目的でしたが、ほとんどの家庭が、家庭としては機能していない実体を垣間見ることができました。

このような講座に関心を寄せる人は、それなりであるにも拘わらず、このような実態ですから、現実にはもっとひどい状態ではないかと痛感しました。

家庭奉仕委員会の活動の必要性を強く感じました。

地区ロータリーの友委員会報告

ロータリーの友委員会

委員長 木 下 博(札幌幌南)

平成17年3月4日(金)札幌ロイトンホテルに於いて、第2回RI2510地区ロータリーの友委員会を遠藤秀雄ガバナーのご出席をたまわり、斎藤元護、佐藤公、坂井治委員の参加を得て開催した。

- 1) 挨拶：遠藤秀雄ガバナー
- 2) 報告事項：

「わがまち わが地区」：「国際観光レクリエーション都市 登別」(「友」誌11月号掲載)

「地区のたより」：「あれこれなんでも相談室」室蘭東RC、「縁を取り持つ米山梅吉記念館」千歳セントラルRC、ガバナー地区自慢「地域密着の奉仕活動」(「友」誌4月号掲載)

雑誌委員会からロータリーの友委員会への名称変更は13クラブ

『友』誌3月号までにR I 2510地区からの投稿で掲載された数と内容

地区委員のレポート：1月まで

3) 活動計画：

雑誌月間(4月)の活動 委員が手分けしてクラブ講話をする、現在札幌RCには坂井治委員が担当することが決定。申し込みがあり次第各委員の担当とする。

地区内のクラブのロータリーの友・雑誌委員長への招集は時期的に困難なので、雑誌月間に向けてのコメントを各クラブへ送る。

4) その他：

次年度地区ロータリーの友委員会・地区雑誌委員会の休止問題 塚原房雄ガバナーエレクトから組織・委員会の簡素化のためにと通告をうけた。

過去のガバナー方の先駆的な考えで、「友」地区委員ひとりではカバーしきれない、地区内の「友」誌の広報、利用促進活動などの役割を遂行するためにこの委員会が設置され、全国レベルのロータリーの友地区委員会でも評価を受けていることです。購読義務のある公式雑誌「友」誌の活用を推進するという目的を持つ委員会の活動をゼロにすることは、むしろ地区の組織の活性を落とし委縮させることと思われま

2004 - 2005年度 第2回 地区クラブ奉仕委員会報告書

日時：平成17年3月5日(土)午後6時開会

場所：おばんざい処車屋

参加者：富原P Gカウンセラー、堅田次年度副委員長、近藤委員、矢橋委員、戸部委員、山本委員、羽部

1) 本年度計画の見直しと次年度計画について

次年度は地区広報委員会をクラブ奉仕委員会と一緒に活動をお願いする。

公共におけるロータリーのイメージアップに努める(塚原エレクトから提案)

楽しい例会の持ち方とクラブ奉仕委員会の役割

2) 会員増強と退会防止

何故今退会者が多いのか?それも3年未満の新入会員が多く含まれている。

入会時のオリエンテーションに問題はないのか?ロータリー情報が不足か?

3) ホームページの更新について

情報を戴いたクラブの活動をホームページに紹介しては如何か?

4) その他

富原C:ロータリーの広報はロータリー以外(外向け)の人へのものと内側の広報を分けて考える必要がある。対外的なアピールとしてマスコミ対策を行う。これは従来ロータリーの奉仕は善意の奉仕で中には公表されることも憚るような感があった。その為かロータリーの奉仕は余り取り上げられなかった。何が取り上げられるか?それはニュースバリューのあるものがマスコミ受けする。この区別をはっきり行う事が大切である。内側に向けての取り組みとして退会者を分析してみると3年未満の新入会員が多いので、会員としてのメリット(特典)についてもう少し情報を提供する必要がある。会員増強と退会防止は一緒である。クラブ奉仕(親睦・楽しいプログラム・適切なロータリー情報)にウエイトを置いて、その延長線上に内側に向けた広報が必要である。情報の共有

各委員の会話から

T:どこに行っても多くのロータリアンに会った。何の為に会員になったか?それが最近問題になってきている。やはり会員の特典は何か?メリットは?

C:ポールハリスがロータリークラブ会員をどのような職業人をターゲットとして考えたか?それは事業家と知的職業人を中心にクラブを作る事を考えた。それには当時のシカゴの情勢があった。会員にエリート意識を与え、その会員は一業種一人制とすることを考えた。次に職業奉仕が考えられ、職業倫理訓が出来て、4つのテストが考案された。このロータリーの発祥における精神は将に「超我の奉仕」が原点である。次年度のR Iテーマでもある。

YM:石の上にも3年と言うが、何故入会したか確か

める必要がある。入会3年未満の会員を対象に。

Y H : 情報委員会に新入会員が参加しない

Y M : みんなが同じ土俵に上がって考えること、そこでこれは何かと勉強する。

C : 質の確保が増強に繋がる、従って量を言うのは難しい点がある。

K : 青年会議所の人脈を利用3年目に幹事として登用する。これによって担当者が勉強することになる。

C : 先日ゾーン研究会に参加してクラブ奉仕部門に参加した。この時「クラブを潰すには刃物はいらぬ、前年度通りにやれば良い」耳の痛い言葉だが、クラブの棚卸しとクラブの見直しをする、体質改善を行う。これは何度も出てきたテーマであった。臭いものに蓋をするでは駄目だ！

次回第3回委員会は4月2日12時にJ R ステラプレイス9階で開催する。

内容は4月10日の地区協議会に向けて役割の分担等を協議する。

ノンカイRC キティサック元会長、 キティポン会長 インタビューレポート



WCS 副委員長 伊藤 知佳子

去る3月5日バンコクにて、ノンカイRCのキティサック元会長、キティポン会長とお会いする事ができました。前日たまたまシンガポールを訪れていた私は、滝川RCより寄贈頂いた救急車の到着確認の為、ノンカイRCのキティサック元会長へ電話をしました。そしてなんと、急遽バンコクで会いましょうという事になり、その日のうちにシンガポールを後にし、バンコクへと向かいました。バンコクにはたまたま、当委員会の若原委員、土倉前委員長のお二人も滞在中との事でしたので、一緒に懇談する事が出来ました。

今回、前回の救急車、消防車の寄贈についてインタ

ビューする事ができましたので御報告させていただきます。前回寄贈した、救急車、消防車は現在の状況はいかがですか？また、今回送りました救急車の到着状況はいかがですか？

K I T T Y : 救急車を頂いた事により、今までは行けなかった幅広い地域まで行くことができています。ノンカイ県の中でもノンカイという地域で使わせて頂いています。

レスキューにも使っていますし、介護にも役立っています。

日本のものは機材がとても充実しています。

いままでは、ピックアップトラックを使用していましたのでケガ人、病人の方は雨が降ると濡れていました。レスキューで処置が早くできる様になりましたし、車内での応急処置も出来る様になりました。

消防車はタイのものよりとても威力があり、給水にも使っています。

今回、滝川RCより寄贈いただいた救急車は、バンコク港を問題なく免税扱いで通過し、来週には陸路でノンカイへ移動します。(7時間、約700km)

こちらにつきましたら滝川RCより寄贈されたというタイ語のステッカーも貼らせて頂きます。ノンカイサイドでニーズの高いプロジェクトは何かありますか？

K I T T Y : ウォータークリーンプロジェクトがあります。水による病気を防ぐ事のできる有効なプロジェクトでニーズも高く、水を綺麗にする装置を設置するものですが、現在ノンカイRCにて1年に1機しか設置できていないのが現状です。



(財)ロータリー米山記念奨学会 2005年3月11日発行

ハイライトよねやま 61

1. 寄付金速報～年度末に向けて

2月までの寄付金は、前年同期と比べ3.7%減、約4千3百万円の減少でした。普通寄付金が2.1%減、特別寄付金が4.6%減です。今年度の寄付金目標は15億1千万円ですが、2月までの時点で達成率は約75%といまだ大変厳しい状況です。地区の寄付金データや資料のご希望がありましたら、どうぞご用命ください。今年度も残りあと4ヵ月、引き続きご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2. 寄付金増進タスクフォース開催報告

2月9日(水) 常務理事会の委嘱を受けた「寄付金増進タスクフォース(作業部会)」がスタートしました。伊藤長英常務理事(第2510地区:北海道西部)が座長を務め、現ガバナー、ガバナー・エレクト、地区米山奨学委員長など、米山関係者から選出された10名の委員が、寄付金減少の原因を分析し、増進方策と今後の奨学事業について検討します。

第1回会議では、「地区での米山奨学金・表彰制度に関する状況調査」、「普通・特別寄付金の現状、分析」について協議し、活発な意見交換と提案がなされました。

速報! ロータリーの友4月号のよねやまだよりは、
「温かい寄付への感謝を表して」
長らく寄付増進の原動力となってきた表彰制度と免税特典について
特集いたします。ぜひご一読ください。

3. 2005年4月新規採用の米山奨学金合格者が決定!

2005学年度の米山奨学金の申込者は1,221名。その中から、全国の地区選考委員会による選考の結果、新規採用者486名の合格が決まり、3月3日に各大学担当者宛に合否通知を発送しました。

合格率を主な国籍別にみると、申込者数の多い中国は32.2%(申込者742名)で、韓国(49.7%:申込者155名)や台湾(44.1%:申込者93名)に比べて高い競争率でした。

今後、合格者には世話クラブとカウンセラーが選定され、5月に開催されるオリエンテーションを経て正式な米山奨学生となります。皆さまの地区・クラブでどうぞ温かくお迎えください。

4. 巣立つ奨学生に幸あれ!～各地区で米山奨学生歓送会開催～

2月中旬から、各地区で奨学期間を終了する米山奨学生の歓送会が実施されています。ガバナーやガバナー・エレクト、理事など役員の方の臨席のもと、カウンセラーや指導教員も招かれて、華やかな雰囲気の中、奨学生一人ひとりに終了証が手渡されます。各地区の米山奨学委員会では、それぞれ趣向を凝らしています。第2750地区(東京都西南部)では、人材ビジネス会社社長から『アジアの日系企業・最新人事情報』と題する記念講演が行われました。また、第2640地区(大阪府南部/和歌山県)では、ロータリアンと奨学生が壇上で混声合唱を披露しました。



5. 『2005学年度 米山奨学生ハンドブック』が発行されました



米山奨学生全員に配布する『奨学生ハンドブック』の2005学年度版ができ上がりました。米山奨学生として守るべき約束・知っておくべき情報はもちろん、奨学生からよく寄せられる疑問と回答をまとめたQ & A、米山奨学生バッジの由来などが掲載されています。

また、巻末には、これまでホームページからダウンロードする形式だった米山奨学生からの各種届出用紙を添付しました。地区で行うオリエンテーションやカウンセラー研修会の際には、当ハンドブックをぜひご活用ください。

* 新規採用・継続者を含めて、奨学生には3月中に配布し、世話クラブ・カウンセラーにはクラブ事務所宛に4月末までにお送りします

6. 台湾に米山学友のガバナー誕生

第3490地区(台湾)の2005-06年度ガバナー・エレクトとして、元米山奨学生の許國文氏【1975-77年度奨学生/徳島大学医学部/世話クラブ:徳島RC】が選出されました。許氏は、台湾・羅東市にある羅東博愛病院の副理事長で、羅東西ロータリークラブに所属しています。2月下旬にアナハイムで行われたR I国際協議会では、日本人以外でただ一人、日本語セッションに参加。積極的に議論にも加わって、日本のガバナー・エレクトとの交流を大いに深めたとのこと。国際協議会でこのセッションのリーダーを務めた川尻政輝パストガバナー(第2750地区:東京都西南部/パシフィックベイシングループ)は、感動を込めて次のように語られました。

「日本人にとって、台湾はもともと親しみ深い国ですが、『台湾のガバナー・エレクトが元米山奨学生である』という事は、まったく質の異なった連帯感を生みます。巣立った奨学生が同じ仲間として、同じ目標をかかげて母国の地区の運営をするまでに、というのは、どれほど日本のロータリアンにとって事業の意義を身近に感じられることが。まさに、米山奨学事業の果たしてきた成果、事業の成長を実感できる大ニュースだと思います。

研修の最後に、私は参加者のガバナー・エレクトに次のようにエールを送りました。『101年目のガバナーであるあなた方は、先輩たちが支援したアジアの人たちと同期の仲間として強い連帯をもてる、とても恵まれた時代のガバナーなのです』と。

昨年、今年と2年続けて、リーダーとしてアナハイムの国際協議会に参加しましたが、元米山奨学生のガバナー・エレクトが自分のクラスに入って、研修を共にできたというのは、私にとって最も感動した出来事でした」

なお、元米山奨学生のガバナー誕生は、韓国の林隆義氏【ソウル市・恵聖総合病院院長(漢城RC所属)/1997-98年度第3650地区P.G.】に次ぐ2人目で、台湾では初の快挙です。

7. 米山奨学会理事 花岡和雄氏(2600地区)逝去

国際ロータリー第2600地区の米山理事 花岡和雄氏が、3月1日にご逝去されました。享年78歳でした。花岡理事は、1992-93年度の同地区パストガバナーで、2001年8月から当会理事となられ、任期は2005年8月までの予定でした。2003年7月からは、米山奨学委員長としてもご奉仕くださいました。ここに謹んで哀悼の意を表し、氏のご冥福をお祈りいたします。

ロータリー米山記念奨学会ホームページでは「ハイライトよねやま」として最新ニュースをお伝えしています。月信等にご活用ください。ガバナー・理事・米山奨学委員長その他希望者にはe-mail等で配信しています。
<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>

(財)ロータリー米山記念奨学会編集担当: 峯^{みね}・野津^{のづ}・大庭^{おおば}
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc 会館ビル8階
Tel: 03-3434-8681 Fax: 03-3578-8281
E-mail: highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL: <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー			
芦別RC	中山 幸雄	会員	1月21日
函館北RC	佐々木公和	会員	2月25日
岩見沢東RC	田巻 敏行	会員	2月4日
札幌西RC	八木 昌興	会員	2月18日
札幌真駒内RC	中山 裕視	会員	2月18日

ポール・ハリス・フェロー			
札幌真駒内RC	丸山 淳士	会員	2月4日
札幌南RC	黒沢 勝昭	会員	2月25日
新札幌RC	五十嵐 勉	会員	2月4日
新札幌RC	望月 好明	会員	2月25日

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者			
千歳RC	福田 武男	会員	2月22日 (8)
千歳RC	佐藤 秀雄	会員	2月22日 (1)
江別RC	野村 昌人	会員	2月3日 (2)
小樽南RC	大淵 勝敏	会員	2月18日 (1)

札幌北RC	井上 勝一	会員	2月16日 (3)
新札幌RC	石黒 光男	会員	2月22日 (1)
新札幌RC	高橋 雅行	会員	2月23日 (1)
苫小牧RC	板谷 剛	会員	2月22日 (1)
浦河RC	蘇田 又栄	会員	2月9日 (1)
小樽南RC	佐藤甚兵衛	会員	2月18日 (1)

掲示板

例会の変更について

室蘭東RC
4月26日(火) 3RC合同夜間例会
18:30~ 於:ホテルサンルート
4月27日(水) 振替休会
苫小牧RC
4月29日(金) 法定休日による休会

スマトラ沖地震の寄付について

「スマトラ沖地震支援」第2510地区寄付集計・総計の報告を致します。

第2510地区寄付合計は 3,952,772円 (38,752.68\$)
総計は 97,765,018円 (958,480.49\$)

2月25日現在
この度のご協力本当にありがとうございました。今後とも引き続き、ご協力のほど宜しくお願い致します。

ガバナー3月号の記載について

p22 先月のガバナー月信3月号で報告しました「書き損じハガキ、未使用テレカ回収状況」につき、一部誤りがありましたので訂正いたします。江別RCの集計で官製ハガキ410枚が欠落していました。江別クラブの皆様には大変ご迷惑おかけしました事、深くお詫び申し上げます。以後充分留意しますので今後とも御支援のほど、宜しくお願い申し上げます。

ガバナー事務所からのお願い

クラブの出席報告は、毎月の最終例会から15日以内
にお願い致します。(FAXもしくはE-mail)

変更等のご報告について

新会員、退会者、会員資格変更、クラブ事務所、例会場、例会日、時間の変更、会長、幹事等の移動の場合、所定の手続きによりご報告下さい。

新しく会員が入会された時は写真を同封の上、氏名、入会日をお知らせ下さい。また会員にご不幸があった場合には、氏名、年齢、ロータリー歴、写真を同封の上、至急ご報告願います。

クラブの移動例会等は地区内他クラブに周知して頂くため、変更日の50日前までにご連絡下さい。

各月ごとのクラブ会報を当該月の最終例会終了後、まとめて毎月ご送付下さい。

ガバナー月信へ原稿をお寄せ下さい。特にクラブの活動、トピックス、地域内の話題等、400字前後に写真1~2枚をご同封願えればと考えています。原稿締切り日は毎月10日を予定しています。

2月会員増減数・出席率報告



グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			04.7.1	05.2.28	増減内	内女性	
1	深川	4	40	39	- 1	1	80.41
	羽幌	4	47	47	0	1	68.45
	妹背牛	4	10	10	0	0	87.50
	小平	3	14	14	0	0	78.57
	留萌	4	59	53	- 6	0	90.90
小計			170	163	- 7	2	81.17
2	赤平	4	34	34	0	2	87.88
	芦別	3	54	50	- 4	0	87.87
	砂川	4	54	52	- 2	0	97.50
	滝川	4	109	111	2	2	70.50
小計			251	247	- 4	4	85.94
3	美唄	4	42	43	1	0	84.02
	江別	4	43	40	- 3	1	93.24
	江別西	4	37	36	- 1	3	87.49
	岩見沢	3	94	96	2	0	95.29
	岩見沢東	4	37	39	2	3	74.35
	栗沢	4	26	24	- 2	1	96.95
	栗山	4	29	30	1	2	92.87
	当別	4	38	39	1	1	88.37
	小計			346	347	1	11
4	札幌	4	123	132	9	0	98.04
	札幌あけぼの	3	16	16	0	1	100.00
	札幌はまなす	4	24	23	- 1	4	89.77
	札幌北	4	49	46	- 3	5	92.86
	札幌モーニング	3	54	56	2	0	67.92
	札幌西	4	69	73	4	3	90.38
	札幌西北	4	48	50	2	2	87.29
	札幌手稲	3	39	42	3	1	100.00
	小計			422	438	16	16
5	札幌東	3	125	124	- 1	0	98.83
	札幌清田	4	26	28	2	6	100.00
	札幌幌南	3	69	69	0	0	100.00
	札幌真駒内	4	44	45	1	2	92.86
	札幌南	4	91	97	6	0	95.37
	札幌大通公園	4	19	20	1	4	76.25
	札幌セントラル	4	19	16	- 3	4	88.50
	新札幌	4	36	33	- 3	1	91.97
	小計			429	432	3	17
6	岩内	4	33	33	0	0	85.00
	倶知安	4	54	54	0	3	68.00
	小樽	4	74	76	2	0	85.20
	小樽南	3	86	84	- 2	0	92.89
	小樽銭函	4	23	25	2	3	89.00
	蘭越	4	14	13	- 1	0	78.65
	余市	4	43	43	0	4	82.78
小計			327	328	1	10	83.07

クラブ数 72クラブ
 期首会員数 3,136人
 当月末会員数(女性) 3,142(88)人
 増加会員数 6人
 当月平均出席率 83.57%

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			04.7.1	05.2.28	増減内	内女性	
7	千歳	3	65	62	- 3	2	87.80
	千歳セントラル	4	30	29	- 1	0	76.75
	恵庭	4	51	51	0	0	78.76
	北広島	4	19	19	0	2	87.50
	長沼	3	18	18	0	3	88.90
	由仁	4	15	15	0	0	80.00
	小計			198	194	- 4	7
8	えりも	4	24	23	- 1	0	70.65
	三石	4	17	17	0	1	91.17
	様似	4	19	18	- 1	1	57.23
	静内	4	67	70	3	0	74.62
	浦河	4	40	40	0	1	68.75
	小計			167	168	1	3
9	伊達	4	56	59	3	0	77.58
	室蘭	4	51	53	2	0	79.34
	室蘭東	4	43	43	0	0	93.75
	室蘭北	4	37	37	0	2	90.99
	登別	4	39	40	1	2	82.50
	洞爺湖	3	10	9	- 1	0	100.00
	小計			236	241	5	4
10	函館	4	101	100	- 1	0	84.11
	函館亀田	4	42	47	5	1	77.13
	森	4	43	43	0	0	74.00
	七飯	4	24	24	0	0	81.20
	長万部	4	13	13	0	0	71.10
小計			223	227	4	1	77.51
11	江差	4	16	17	1	0	78.50
	函館五稜郭	3	68	64	- 4	0	83.95
	函館東	4	50	44	- 6	4	86.36
	函館北	4	37	37	0	0	77.26
	上磯	4	29	29	0	3	62.60
	松前	4	9	9	0	1	66.67
小計			209	200	- 9	8	75.89
12	白老	4	29	26	- 3	0	79.50
	苫小牧	3	56	60	4	0	85.65
	苫小牧東	4	32	32	0	3	82.81
	苫小牧北	4	41	39	- 2	2	85.37
	小計			158	157	- 1	5
合計			3,136	3,142	6	88	83.57

新入会員のご紹介



伊原 洋三
美唄 R C
平成16年12月2日



高田 正則
美唄 R C
1月6日入会



木村 麻美
札幌清田 R C
1月25日入会



永井 承郎
苫小牧 R C
2月18日入会



櫻田 泰清
苫小牧 R C
3月4日入会



木下 克彦
苫小牧 R C
3月11日入会

訃報

慎んでお悔やみ申し上げますとともに、
心からご冥福をお祈りいたします。

藤井 章司 会員(札幌北 R C)
2005年3月4日ご逝去(享年74歳)

【ロータリー歴】

1995年8月入会
2003~04年度 出席委員長
2004~05年度 社会奉仕委員長

ポール・ハリス・フェロー



西埜 善郎 会員(留萌 R C)
2005年1月5日ご逝去(享年78歳)

【ロータリー歴】

1981年5月6日入会
1984~85年度 増強委員長
1987~88年度 理事国際奉仕委員長
1992~93年度 親睦委員長
1993~94年度 社会奉仕委員会
(人間尊重委員長)
1996~97年度 第36代会長



米山功労者マルチプル、ポール・ハリス・フェロー

4月・5月 地区カレンダー

4 月 ロータリー雑誌月間		5 月	
1 (金)		1 (日)	第4・5グループ ロータリー 100周年子ども音楽祭
2 (土)		2 (月)	
3 (日)	インターアクト委員会(17:00~,ホテルライフォート札幌)	3 (火)	憲法記念日
4 (月)		4 (水)	国民の休日
5 (火)		5 (木)	こどもの日
6 (水)		6 (金)	
7 (木)		7 (土)	
8 (金)		8 (日)	
9 (土)		9 (月)	
10 (日)	地区協議会(札幌パークホテル)	10 (火)	
11 (月)		11 (水)	
12 (火)		12 (木)	
13 (水)		13 (金)	
14 (木)		14 (土)	
15 (金)		15 (日)	
16 (土)		16 (月)	
17 (日)		17 (火)	
18 (月)		18 (水)	
19 (火)		19 (木)	
20 (水)		20 (金)	
21 (木)		21 (土)	栗山RC35周年式典(16:00~,ホテルパラダイスヒルズ)
22 (金)		22 (日)	
23 (土)		23 (月)	
24 (日)		24 (火)	
25 (月)		25 (水)	
26 (火)		26 (木)	
27 (水)		27 (金)	
28 (木)		28 (土)	
29 (金)	みどりの日	29 (日)	75歳ローターアクト地区大会(アネックホテル)
30 (土)		30 (月)	
		31 (火)	

ROTARY



www.rotary.info

World Understanding
100 Years



DISTRICT 2510 of ROTARY INTERNATIONAL
2004-2005
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER